

令和5年2月1日(水) 学力向上21号

おりひがっこは すばらしい

学校だより



おりひがっこ



北九州市立折尾東小学校

校長 上村 ゆかり

R4年度全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数、理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

(1) 全国・本市の学力調査(国語、算数、理科)の結果

本年度の結果	国語		算数		理科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.9	64	9.8	61	10.4	61
全国	9.2	66	10.1	63	10.8	63

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	・感染症対策により、表現活動が難しい中、ICTを使った表現活動を工夫して指導してきた。今年度の正答率は、北九州市平均や全国平均を上回っていた。「表現する」という目的意識をもって学習してきた効果が出たとも言える。また「構成等には気を付けて伝えよう」という意識も持っていると考え。	全国平均との比較 上回っている
算数	全体的な傾向や特徴など	・今年度の正答率は北九州市平均を上回っており、全国平均と同程度であった。苦手としている説明等を記述する問題については、キーワードを明確に示すことができていないことが課題として残った。日々のノート整理等の積み重ねが力になっている。	全国平均との比較 同程度
理科	全体的な傾向や特徴など	・今回の正答率は北九州市平均を上回っており、全国平均と同程度であった。実験器具を理解し、器具の正しい扱い方を身に付けているかどうかをみる問題は、全国的には課題の見られた問題であった。しかし、本校の児童はよく理解していた。今後も、単に知識として教えるのではなく、観察や実験などの目的に応じて、正しく使えるように普段の授業から指導していきたい。	全国平均との比較 同程度

(3) 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



・本校の児童は、全体的に自分に自信をもてていない児童が多い。「自分には、よいところがあると思いますか」という質問では、まだまだ肯定的回答は低いが、調査後「おりひがスポーツデー」や「60周年を祝う会」等で6年生としての役割を果たす活動を経て、「自分によいところがある」と思っている児童は増えてきている。今後も、今行っている友達のよいところを見付ける活動を続けていくことで、自己肯定感・自尊感情が高まっていくことを期待している。

(4) 学習中等についての分析

・「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」という質問では、肯定的な回答が全国平均を上回っている。GIGA 端末の使用する技術も高まり、学級の友達との間で表現するツールの一つとなってきている。特に6年生は、グループの中で、GIGA 端末の中の友達の考えを共有し、意見を交流することができていた。小グループの中で、しっかり考え合う力がついてきたと言える。

・「読書は好きですか」という質問には、肯定的回答が全国平均を大きく上回っている。ICT機器が発達した今でも、読書に対する興味関心があることは嬉しいことである。発表は苦手であるが、ノートをまとめたり、文章としてまとめたりしていく力が伸びていっている理由は、この点にあると思われる。

・6年生の1番の力は、自分の考えをしっかりノートにまとめられる力である。どの子も、どの教科も、その時間の振り返りを書き、復習することができている。また、学習中も自分の考えを書き、友達の考えと比べることもできている。日々の積み重ねが学力定着のすべてだと言える。

(5) 学校全体の取組

北九州学力・学習状況調査 CRTの取組	4・5年生は、北九州学力・学習状況調査で、1・2・3年生もCRT調査で、国語科・算数科に取り組んだ。これらの調査は、学年全体の課題や個別の課題等を分析することができる。今後の学習に生かしていきたい。
ひまわり学習塾	4年生は火曜日、5年生は金曜日に、「ひまわり学習塾」で全員プリントを使って、基礎学力の定着を図っている。担任の先生の外に、ひまわり学習塾の先生にも入っていただき、個別指導も行うことができるようにしている。
ドリルアプリ 「ミライシート」	今年度初めて、GIGA 端末にドリルアプリを入れて取り組んでいる。朝自習や隙間時間にドリルを行っている。間違えた問題は、正解するまで何回も解いてみて、子どもたちは解き方等を理解してきた。先生方は、子どもたちの進捗状況を把握することができる。家で復習しているお子さんも多く、繰り返し行うことで、力が定着してきている。

(6) 最後に

子どもたちにとって1番大切なことは、「学校が楽しい。」「がんばることを自分で決めることができる。」「がんばったことを認めてもらえる。」ことだと思います。ぜひ、意欲を引き出す「褒める」の言葉をお願いします。学校とご家庭で、お子様をしっかり伸ばしていけるように、取り組んで参りましょう。

